水稲の生育状況と今後の管理対策（第１号）

平成 27 年 5 月 29 日
新潟県農林水産部

〔要約〕

５月 28 日現在の水稲の生育状況

① 田植え後の気温が平年より高く推移しており、コシヒカリ・こしいぶきとも生育は順調です。特に、連休に田植えしたほ場では生育が旺盛なところも見られます。

今後の管理対策

① １か月予報によれば、今後１週間は高温が続くことから生育が早まる可能性がありますので、中干し(なかぼし)*1は、田植え後 30 日をめやすに時期を逸しないよう開始しましょう。特に、こしいぶきや連休に田植えしたコシヒカリは、遅れないよう注意しましょう。

② 中干し前でも田のワキ*2の発生が多いほ場では夜間落水を行い、根の健全化に努めましょう。

＊1 中干し：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

[5 月 28 日現在の生育]

○ 平野部・山間部とも生育は順調に推移しています。平野部を中心に、５月 13 日から 14 日の強風により葉先の褐変が見られましたが、その後の好天により回復し生育は順調です。また、ほ場間差が大きく、連休田植のほ場は生育量がやや大きめとなっています。

○ コシヒカリは、県平均では指標値（理想的な生育めやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」の状況です。

○ こしいぶきも、県平均では指標値に比べ、草丈「やや短」、茎数は「やや多」、葉数の進みは「並」の状況です。

[今後の生育見込み]

○ ５月 28 日発表の１か月予報（５月 30 日から６月 29 日までの天候見通し）によると、平均気温は高い確率が 50％で、降水量は少ない確率及び平年並の確率ともに 40％です。特に、５月 30 日からの１週間は、気温が高い確率が 80％です。

○ そのため、今後は、生育ステージが早まり分げつの発生が旺盛となる見込みです。

[当面の管理対策]

○ 中干し・溝切(みぞき)り

中干しの開始は、茎数が目標穂数の 80％程度を確保した時期で、田植え後 30 日をめやすに遅れずに実施しましょう。特に、こしいぶきは茎数がやや多くなっていますので注意しましょう。例年生育が旺盛な地域では、早め・強めの中干しを徹底しましょう。

また、溝切りも遅れずに確実に行い、根の健全化やほ場の地耐力の向上を図りましょう。

○ 水管理

気温が高く降雨が少ないので、土壌の還元が強まり田のワキの発生が多くなることが予想されます。発生程度に応じて水の更新や夜間落水を実施してガス抜きを行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

◎ 今後の管理対策発行予定日
6 月 11 日･19 日、 7 月1日･10 日･22 日･28 日･31 日、 8 月 21 日、 9 月 11 日･18 日、 10 月下旬

〔補足資料〕

１　コシヒカリおよびこしいぶきの生育状況

１頁の「水稲生育状況と今後の管理対策」の生育状況は、下記の生育調査結果及び他の調査結果を含めた生育状況です。

（１）農業普及指導センターの「生育調査ほ」の結果は以下のとおりです。

○　コシヒカリの草丈は指標値（理想的な生育めやす）並～やや短く、茎数はやや少ない。葉数は指標値並である（表１）。
○　品質安定化対策実証ほのコシヒカリは、気象感応ほとほぼ同様の生育である（表２）。
○　こしいぶきは指標値に比べ、草丈は並、茎数はやや多、葉数は並である（表３）。

表１　コシヒカリの生育調査ほ調査結果

項目	5/28 平均値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	特 記 事 項
草丈	21 ㎝	23 ㎝	91%	・平年比 95%、H26 年比 95% ・指標値に比べやや短いが、地域差あり。
茎数	85 本/㎡	91 本/㎡	93%	・平年比 105%、H26 年比 112% ・指標値に比べやや少ないが、地域差あり。
葉数	4.8 葉	4.8 葉	±0 葉	・平年差 0.1、H26 年差 0.3 ・指標値並だが、地域差あり。

注１：県内 15 か所に設置した生育調査ほの平均、田植え 5 月 13 日、栽植密度 17.3 株/㎡

表２　品質安定化対策実証ほ調査結果（コシヒカリ）

項目	5/28 平均値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	特 記 事 項
草丈	23 ㎝	23 ㎝	100%	・H26 年比 110% ・指標値並。
茎数	83 本/㎡	90 本/㎡	92%	・H26 年比 117% ・指標値に比べやや少ない。
葉数	4.9 葉	4.8 葉	＋0.1 葉	・H26 年差 0.3 ・指標値並。

注１：県内 14 か所の平均、田植え 5 月 14 日、栽植密度 17.3 株/㎡（14 か所平均）
注２：一部地域では、調査ほ設置場所の違いから、品質安定化実証ほの指標値が生育調査ほの指標値と異なる場合がある。

表３　こしいぶきの生育調査ほ調査結果

項目	5/28 平均値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	特 記 事 項
草丈	21 ㎝	22 ㎝	95%	・平年比 100%、H26 年比 100% ・指標値並。
茎数	117 本/㎡	109 本/㎡	107%	・平年比 121%、H26 年比 127% ・指標値に比べやや多い。
葉数	5.3 葉	5.0 葉	＋0.3 葉	・平年差+0.2、H26 年差+0.1 ・指標値並。

注 1：県内 14 か所に設置した生育調査ほの平均、田植え 5 月 10 日、栽植密度 18.5 株/㎡

（２）作物研究センター調査ほ

○5 月 28 日調査のコシヒカリの生育は、化学肥料区では草丈は平年よりやや短い。茎数は分げつ発生が始まったが、前年並みで、平年より少ない。葉数は前年より多く、平年並み。有機質肥料区は、化学肥料区とほぼ同様の生育となっている。

○こしいぶきの生育は、草丈は平年よりやや短い。分げつ発生が始まり、茎数は前年、平年より多い。葉数も前年、平年より 1 葉以上進み、初期生育は旺盛となっている。

表４　コシヒカリの生育(調査日：5 月 28 日)

施肥区	化学肥料区			有機質肥料区	
	本年値	前年比・差	平年比・差	本年値	前年比・差
草　丈	22cm	96%	94%	22cm	114%
茎　数	77 本/㎡	104%	84%	75 本/㎡	104%
葉　数	5.3	+ 0.8	+ 0.3	5.2	+ 0.6

注)田植え 5 月 11 日、栽植密度は 18.2 株/㎡。

表５　こしいぶきの生育(調査日：5 月 28 日)

施肥区	化学肥料区		
	本年値	前年比・差	平年比・差
草　丈	20cm	96%	95%
茎　数	104 本/㎡	131%	118%
葉　数	6.0	+ 1.3	+ 1.0

注)田植え 5 月 11 日、栽植密度は 19.6 株/㎡

２　地力(ちりょく)窒素の発現状況

○　移植日からの日平均地温は平年より約 1.2℃高い。期間窒素発現は化学肥料区、堆肥区ともに平年より多い（表８）。

表６　地力窒素の発現状況（農総研基盤研究部調査）　　（mgN/100g）

調査日		５月１１日①	５月２８日②	地力窒素発現量※1 (③＝②－①)
化学肥料区	本年	2.1	3.7	1.6
	前年	2.2	3.3	1.1
	平年	2.3	2.7	0.5
堆肥施用区	本年	2.8	4.1	1.2
	前年	2.8	4.1	1.2
	平年	2.6	3.4	0.7

※１　小数点３ケタ目の四捨五入の関係で、表中の数値の引き算と合わない場合がある。

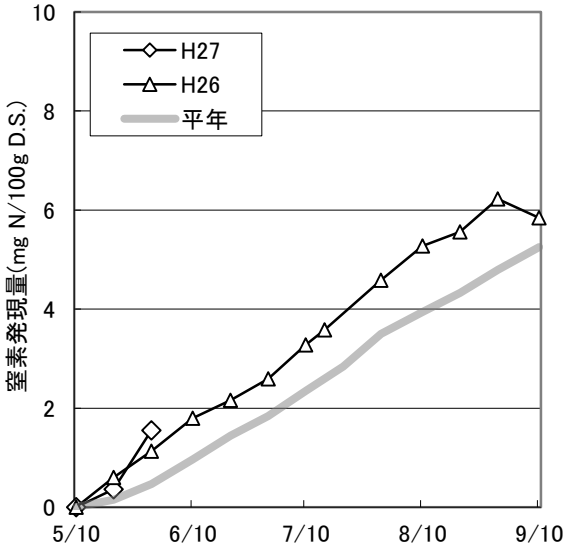

図１　地力窒素の発現推移
（化肥区；初期値を０とした）

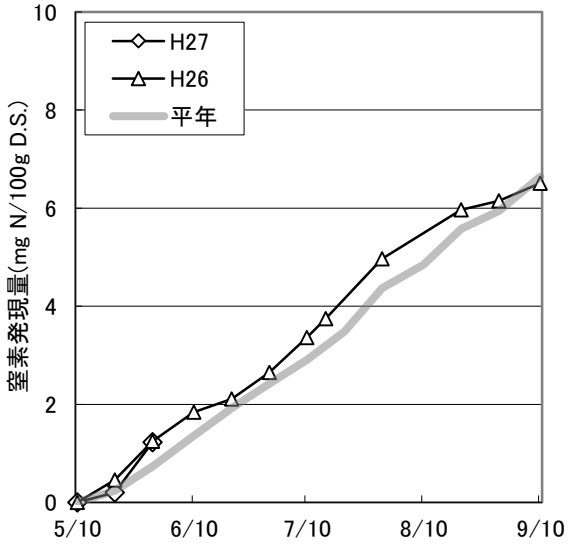

図２　地力窒素の発現推移
（堆肥区；初期値を０とした）

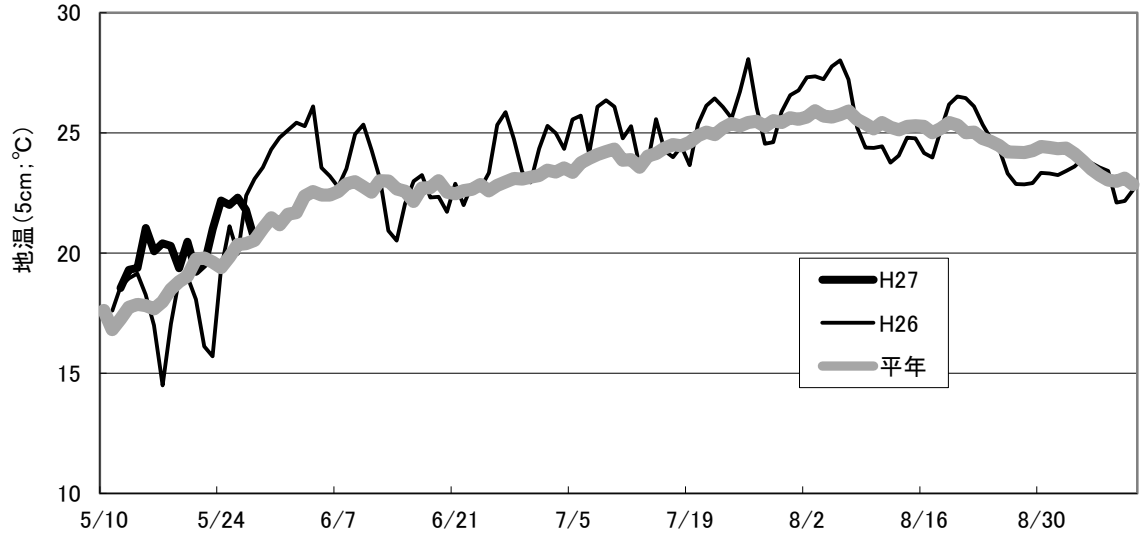

図３　地温（5cm）の推移